

かぎや 鍵谷 カナ (1782~1864)



伊予絣の創始者。伊予郡垣生村(現、松山市)出身。同村内今出の農家に生まれ、同じ村の農家・小野山藤八に嫁ぎ、享和年間(1801~1804)に今出絣を考案したと伝えられる。今出絣発明の起源について、鍵谷カナ頌功堂碑(松山市西垣生町・長楽寺)の碑文には、農家の藁屋根の葺き替えの折に見かけた押し竹を縛った跡のまだら模様我心ひかれ、これを織物に応用して織ったものが始まりと記されており、また飛白織工勞姫命碑(松山市西垣生町・三島神社)と伊予絣創始頌功碑(松山市・道後公園)の碑文には、カナが金毘羅参拝の旅中、寛政末(1800年頃)に創始された久留米絣を見て、自ら織り出したとする説が記されている。今出絣は後に伊予絣と呼ばれ、日本三大絣の一つとなり、広く知られ愛用されている。

略歴

天明2(1782)年 伊予郡垣生村今出に生まれる。
享和年間(1801~1804)年 今出絣を考案
元治元(1864)年5月28日 83歳で永眠

(胸像：旧民芸伊予かすり会館敷地内)

〈関連図書〉

- ・渡辺茂雄『四国開発の先覚者とその偉業(第二集)』 四国電力株式会社 1964年
- ・河野正信『愛媛文化叢書15 伊予絣』 愛媛文化叢書刊行会 1973年
- ・愛媛子どものための伝記刊行会『愛媛子どものための伝記 第4巻 鍵谷カナ・下見吉十郎・義農作兵衛』 愛媛県教育会 1983年
- ・『愛媛人物博物館 人物探訪第6集』 愛媛県生涯学習センター 2004年

〈ゆかりのある場所〉…(P278, 57~60)

〈関連施設〉…Art Labo KASURI 歴史館

〒791-0004 愛媛県松山市大街道3丁目8-3 TEL: 089-968-1161